

授業科目	養護実習				単位	4		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE44114J		
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	西丸 月美、杉谷 修一、増本 由紀子							
授業概要	養護実習を通して養護教諭として必要な態度を養い、学校保健の推進と実践力を培うことを意図している。小・中・高等学校において3週間の養護実習を体験する。実習内容は実習校の実状に応じて計画する。養護教諭の職務内容については実習校の重点的な保健活動あるいは実習期間中の行事等を考慮する。但し実習機会のない項目についても可能な限り講話や資料で学習し、実習校における保健活動全体の概要を把握できる養護実習にする。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで履修した教職・専門科目等の理論や技術を基礎に、教育現場における実践的な展開を体験することで、養護教諭の職務を説明できる。 2. 学校保健活動を推進するために、学校教育全般の組織、運営を理解し、養護教諭の立場と役割について体験を通して説明できる。 3. 児童生徒等の人格形成と心身の成長・発達に貢献し、教育における研究課題を発見すると共に自己の望ましい教師像を形成することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	0	30	50	100	
知識・理解 (DP1-1)			5		5		10	
知識・理解 (DP1-2)			5		5		10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			5		5		10	
思考・判断 (DP2-2)			5		5		10	
関心・意欲 (DP3-1)					5	5	10	
関心・意欲 (DP3-2)					5		5	
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)						5	5	
技能・表現 (DP5-1)						20	20	
技能・表現 (DP5-2)						10	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
理想的なレベルとして次の3点を満足できること。 1 養護実習の目標を達成することができる。 2 自ら進んで、児童生徒等への対応や指導を行うことができる。 3 自分の課題解決に向けて積極的に行動できる。				養護実習の目標を達成できるように、自分の課題解決に向けて行動できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	<p>○実習校の指導者と十分に打合せを行った上で、学校行事等を考慮して実習計画をたてて進めて行くこと。</p> <p>○養護実習校において以下の内容について、養護実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.学校教育の概要 2.学校保健組織活動 3.学校保健安全計画及び養護教諭の職務計画 4.保健室の運営管理 5.環境衛生の観察・調査 6.定期(臨時)健康診断の計画・立案・運営・事後指導 7.救急処置及び疾病予防・疾病管理 8.学校環境衛生活動 9.健康観察及び欠席調査と分析 10. 個別指導保健指導・集団保健指導 11. 健康相談 12. 集団の保健教育及び個別の保健指導 13. 感染症対策 14. 保健行事の際の保健管理 15. 教育者の資質向上と研修方法 16.特別な支援を必要とする子どもへの対応 17.その他 	実習(観察、参加、実施、講話など)	実習校との打ち合わせ。 実習期間の計画立案。 これまで学習した関連科目の復習。	3週間の養護実習
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	児童生徒等の成長発達の理解や現代的子どもの健康課題への対応、指導力など学校保健、養護教諭などの実践力が求められます。救急処置など児童生徒への迅速な対応ができるように準備を整えてください。また、保健だよりや掲示物、学習指導案の作成など実習に行く前に準備をしてください。			
テキスト	学校保健・安全実務研究会 編著：『新訂版 学校保健実務必携』（第一法規）			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「改訂 養護実習ハンドブック」大谷尚子・中桐佐智子 東山書房 必要に応じて、資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	1. できるだけ早いうちから養護実習校の実情を把握し、養護実習の準備のための学習をして下さい。 2. ノートを準備し、教職科目と養護専門課目の復習を行ってください。 3. 実習後はノートと実習日誌を整理して、理解を深めてください。			
達成度評価に関するコメント／課題に対するフィードバックの方法	レポート課題、記録類については、授業の中で指示する。 その他の評価については、実習校の評価・担当教員による実習巡回指導等で評価する。			

